



学びの保証

令和2年6月2日（火）

常永小学校学校だより
Community School通信

校長室の窓辺より

〒409-3851 山梨県中巨摩郡昭和町河西15
TEL 055-268-1111 FAX 055-268-1112

「学びの保証」とCatch up curriculum

校長 深澤秀興

過去に例を見ない、3か月間の臨時休業を経験した子どもをどのように受け入れるか。このことについては、前号・第3号「『入口』戦略」でお示したところ です。

保護者・地域の皆様方の御理解と御協力により、分散登校による学校文化への慣らし（アイドリング）から、通常の学校生活への橋渡し（徐行運転）と、順調に歩みを進めてきました。

いよいよ、来週6月8日からは、「『入口』戦略」の最終段階、3か月間の「学び」の遅れを取り戻す、本校独自のCatch up curriculum（学習の遅れを取り戻す教育課程）を実施します。この、いわゆる「学びの保証」、学力の保証は、健康保持と共に、学校に求められているコロナ対策の重要な柱と捉えています。そこで、このことについては、既に御案内申し上げてきた部分もございますが、ここで改めて詳しく御説明いたします。

■国と県、その他の方針■

国は、5月15日付で「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた『学びの保証』の方向性について」という通知を、また、県は「指導計画作成上の留意点」を、それぞれ示しています。この中で県教委は、「未指導分の授業内容の充実について」は、「各教科等の授業時数の縮減等指導計画の見直しを行い、時間割編成の工夫、学校行事の精選、長期休業時間の短縮等を検討する」と提言しています。また、国は、「指導計画等を踏まえながら家庭学習を課し、教師がその学習状況や成果を確認し、学校における学習評価に反映することができる」とも述べています。

そこで、本校では未指導分の学びの保証方法として

- 1 3年生以上の学年に対して、各教科等の授業時数に軽重を付けた特別な時間割 Catch up curriculum（学習の遅れを取り戻す教育課程）を編成、実施します。なお、1、2年生は通常の時間割で授業を進めます。
- 2 また、既に、昭和町教育委員会からのおたよりで通知しましたように、夏休みを短縮する等の対応により、授業日数を確保します。

なお、本校の試算によると、この1、2の方法を採ることにより、概ね10月7日前後には学習の遅れを取り戻し、例年通りの学習進度となる見込みです。よって、一部報道にあるような、

- 3 「1週間に実施する授業時数を増やす」といったことや、「土曜日に授業を実施する」といったことはしません。



【裏も御覧ください】

いずれにせよ、国が定めた学習について未指導のまま、進級・進学をさせるということはありません。その一方で、子どもの理解を脇に置き、「追いつけ・追い越せ」的に詰め込み式の授業であっても困ります。

勉強！勉強！と大人が号令を掛ければ掛けるほど、子どもが学習嫌いになったのであれば、元も子も有りません。

そのことを、肝に銘じて「学びの保証」をしていきたいと思ひます。

そこで、常永小では **Catch up curriculum** を実施します。



■ 本校が実施する **Catch up curriculum** とは ■

- 1 全ての学習の基盤となる「国語」、学習内容の系統性と積み重ねが求められる「算数」と「理科」、教科内で学習内容を関連させて扱いにくい「社会」に重点をおいて時間割りを組みます。
- 2 具体的には、通常的时间割と比べて週あたり、「国語」と「算数」は2時間、「理科」は「社会」1時間増やした時間割を組みます。なお、「体育」は、長期臨時休業に伴う児童の体力の低下、ストレス解消の視点から、通常的时间割と同数の授業時間とします。
- 3 「国語」「算数」「理科」「社会」の4教科は合計6時間、週あたりの授業時数が増えます。この時間は、4教科+体育以外の「他の教科、等」から捻出します。
- 4 具体的には、図工、音楽、総合、等の「他の教科、等」は「コンビ」(combination, 「組合せ」の意味)の時間としてまとめるとともに表記し、時間割りに位置付けます。
- 5 そして子どもには、「今週と来週のコンビは、図工をするよ」といった形で、周知と指導を行います。
- 6 なお、4教科は、学習の進捗が、当初の年間指導計画に追いついた時点で、各教科ごとに、週あたりの授業時数を通常授業時数に戻し、その空いた時間を「コンビ」の時間に充てるようにします。
- 7 このようにして授業を進めていくと、【別紙】を参照していただきたいと思ひますが、概ね10月7日前後には学習の遅れを取り戻し、例年通りの学習進捗となる見込みです。

図工、音楽、総合、等を「コンビ」の時間としてまとめるといふのは、決してそれらの「教科、等」を軽視しているものではなく、あくまでも、「絵を描く」といふ学習が年間で3回計画されていたならば、1回に集約するといふ発想です。

更に、「家庭学習も、評価が行えるものは授業として位置付けてもよい」との文部科学省の説明により、図工や音楽、等においては、学校で説明を行い、家で作品制作や練習を行って来るといふ「宿題」を出すことも考えられます。

こういったことを含め、保護者の皆様方には、Catch up curriculum について、御理解と御協力をお願いいたします。

具体的な運用につきましては、各学年のお便り等で、御確認下さい。

併せてBlogも御覧下さい

学校はどの方向に進もうとしているのか、そのような中で子どもたちはどのように過ごしているか。日々の様子を綴っています。学校と保護者の皆様との架け橋になってくれることを期待しています。1週間に1度でも結構なので、お時間のある時にのぞいてみてください。常永小のホームページからも見ることができます。



【裏も御覧ください】